

細い根しか分布していないことが明らかになった。この調査に先立って枯れ枝落下事故を未然に防ぐ意味で枯れ枝伐採除去を行った。樹高40mに届くには二十五センチレッカーが必要だった。このレッカーを入れても参道は全くへこまなかった。

表面10cmの硬さは舗装道路以上であった。これだけ硬いと雨水は入っていないし、当然空気も入らないので根は酸欠状態になり生きられない。10cmから下はコチコチの単粒構造の赤土で深くまで硬く締まっていて、北西及び西側の山から沁み出てくる地下水は、参道で遮断されて東側へ抜けにくくなっていた。直径20cm程度の枯れ枝がかなりあった。三年や五年でこんなに太い枝まで枯れこまない。少なくとも二十年近く前から根の障害は始まっていたはずである。

そのような調査結果から土壌改良対策として、土を柔らかくする、土の中に空気を送り込み酸素を補給する、土の粒を大きな塊にする（団粒化、栗おこしのような形にする）…の三項目が必要と考えた。土を掘り返して改良材を混ぜて埋め戻すという普通の方法では参詣者の通行を妨げるので行えない。そこで圧縮空気を土中で爆噴させる機具を使用することにした。爆噴した瞬間には半径1m近くの地面がブワッと浮き上がる。深さ15cm、二十五cmの

位置で爆噴させ硬く締まった粘土層に亀裂を入れ、土壌団粒化剤と酸素発生剤、薄い液肥を混合し液地注入した。作業でできた穴にはつぶれ難く加工されたセラミック細粒炭を充填した。一部有機質肥料を入れたところもある。一度加工したからそれで見事に復活するわけではない。毎日踏み固められているのだから毎月のように施工すればよいのだがそういうわけにもいかない。一年に一度くらいは施工したらどうだろうかと提案している。この一連の工法は既に充分実績がある。また現在の並木の状態を基本台帳的に写真と共に記録保存して、五十年後百年後にこの変化が後世比較検討できるようにと記録を作った。まだ勅使参道に沿った部分だけではあるが。五十年と継続する事によって枝葉に必ず変化が出てくるはずなので、それがはっきり見えるようになることを楽しみにしている。五十年後百年後の氏子さんや宮司さんたちはどのように評価するだろうか。

昭和四十一年静岡大学農学部林学科卒
（株）東海開発観光（浜松シーサイドゴルフ）ヤマハ合歓の郷 浜松市フラワーパーク公社などを経て自営に。
樹木医一期生

例祭の齋行

四月十八日午前十時より例祭が齋行されました。本年は静岡県神社庁副庁長櫻井豊彦様並びに森町長村松興雄様をはじめ多数の皆様のご参列を賜りました。

また、十九・二十日には十二段舞楽が奉奏され、二十日午後二時よりの神幸祭は生憎の雨模様のため神輿渡御、勅使行列は雨儀により齋行となりました。

なお、この例祭と神幸祭のときだけ大神様に奉獻される特殊神饌（お供え物）として「伏兎」「曲勾」と呼ばれる古代菓子があります。十七日の前日祭終了後、神職巫女により調製され、フトは餃子状、マガリは紐状の輪をひねった形のもので、米粉二升に水を加えながら練り、こぶしくらいの大きさに丸めて一時間ほど蒸した後、もう一度よく練り、冷めないうちにフトとマガリの形状にします。かつては少量の砂糖や小豆の餡をいれたともいわれています。

連日多くの皆様に御多忙の中にも拘わらずご参列ご参拝を賜り、賑々しくも厳粛のうちに御神慮を畏むことができました。



十二段舞楽奉仕者御芳名

（敬称略）

指間役	大場 輝夫	大塚 佳毅
楽頭	白幡 富幸	乗松 邦明
行事	大場喜久司	鈴木 嘉久
	天野智加志	小川 正恭
師匠	大場 篤	朝比奈 齊
	小澤 広一	安摩 狩野 高士
	北嶋 恵介	渡辺 敬弘
	大場 詞信	島田 秀邦
	内藤 明廣	山本 昌人
師匠見習	高木 誠	山下 昌彦
衣裳方	小林 隆	鶴見 俊之
	大塚 静雄	水野 郁男
稚児	大場 勇輝	大場 学
	鶴見 祐介	納蘇利 白幡磨佐彦
	山下 大貴	鶴見 和弘
	鈴木 雄大	鈴木 清次
大金衆	大場 脩司	平田 章浩
	神麻 敏来	岩瀬 公紀
	大場 竜士	塩沢 佳夫



舞楽奉仕者一同



巫女舞

佐野由実・新貝美由紀
高木華子・永田有里奈



稚児舞

鈴木雄大・山下大貴
鶴見祐介・大場勇輝



太平楽

大塚佳毅・大場竜士
神麻敏来・大場脩司

太平楽・稚児舞・巫女舞
奉仕者御芳名(敬称略)



半田 未来 森町牛飼
村松 歩美 森町牛飼
加藤 稜大 森町円田
鈴木 悠斗 森町円田
鶴見 慎也 森町円田
鶴見 亮 森町円田
鶴見 直樹 森町円田

稚児行列奉仕者御芳名
(敬称略・順不同)



参道並木保全工事

御加藤商店
三木の里カントリークラブ
若葉工業(有)
金山化成シズオカ(株)
ヤスマ(株)静岡工場
杉本金属(株)森町工場
長岡香料(株)静岡工場
朝日製作所(株)
ヤマハ発動機(株)森町工場
(有)加藤はつり工業所
太雄工業(株)
(有)アマノ
シエ・モーン
保食や
伊那谷
太田茶店
松田歯科医院
日本塗装工業(株)
指定売店
マルヤマ石油ソノタ給油所
有限会社大寶建設
有限会社大寶建設
(有)すぎき工業
鈴木農園
あさひな(株)
(株)仲孝
(株)タイゴ
(有)朝比奈造園
石橋 寛一
清鈴木塗装
社家一同
家中屋務店
家本建機工業(株)
かねとよ(株)
(株)ツカモト
(有)桜井工業所
(有)守屋モーター

御神燈奉献御芳名(敬称略・順不同)

水野修次 森町 森下建設(株)
北嶋祐吉 森町 森下建設(株)
(株)三愛工業 茨城県(株)松下装束店 島田市
(株)甲賀弓具店 静岡市(株)小倉商店 森町
京都製菓(株) 春日屋 豊田県
(有)丸井紙店 山梨県 豊田合成(株)森町工場 森町
盟和製作所 茨城県 セコム(株)磐田支社 磐田市
指定売店 (有)アザリワイエム エンゼル 袋井市
倉見建設(株) 栃木県
森町 村上社寺工芸社 森町
森町 モリシタデザイン 森町
魚太 (株) 長谷川製作所 豊田県
(株) 樹生の会館 掛川市
西遠消防機具(株) 浜北市
常陸神社(株) 茨城県 天信堂 大阪府
泉嘉書店 森町
みどり写真館 森町
高塚印刷所 掛川市
小島屋松鶴 袋井市
(株)大和奉神堂 奈良県

内山商会山梨店
(有)北島電気
(有)今泉土木
(有)信濃精密
カルト(株)
ダイヤード建設(株)
魚泰
有限会社泰伸
エビスヤ(有)
鈴木酒店
ヘヤーサロン高木
森のびようしつ
山本美容院
美容室たけしの店
遠州中央農協一宮支店
百々や
一ノ宮郵便局
(有)共栄土建
(株)裕田製作所
わかさ屋
わさび白川商店
分館間商店
大塚彫刻工藝
堀内ふとん店
中根美容室
(有)栄産業
東京理容
三幸産業(株)
金原石油
すずき美容室
(有)船木鉄建
萩原造園(有)
鈴木 弘子
(有)西尾工務店
大同アミスター(株)
ピーシー橋梁(株)
コーアツ工業(株)
共同企業体

(株)間組・大日本
土木(株)第二東
A名高速道路森町P
A工事共同企業体
青木総業
シヤート中川
エムケイデンキ(有)
神馬急送(有)
青木友彦
青木恒産
青木良太
青野精工
長谷川建具
民宿竹下ナギサヤ
(株)山本環境整備・
浅岡菓子舗
大場獣医科医院

中村 登
やまひろ(株) 関東工場
マルミ塗装
山田建設
高木工業
高木建築
焼雲窯
(株)サ・イ・レ・ト・リ・ラ
(株)鈴木土建
(有)ヤマニシ建築

氏子各地区より神賑料のご奉賛を戴きましたこと厚く御礼申し上げます。

ぼんぼり
雪洞 献燈御芳名(敬称略・順不同)

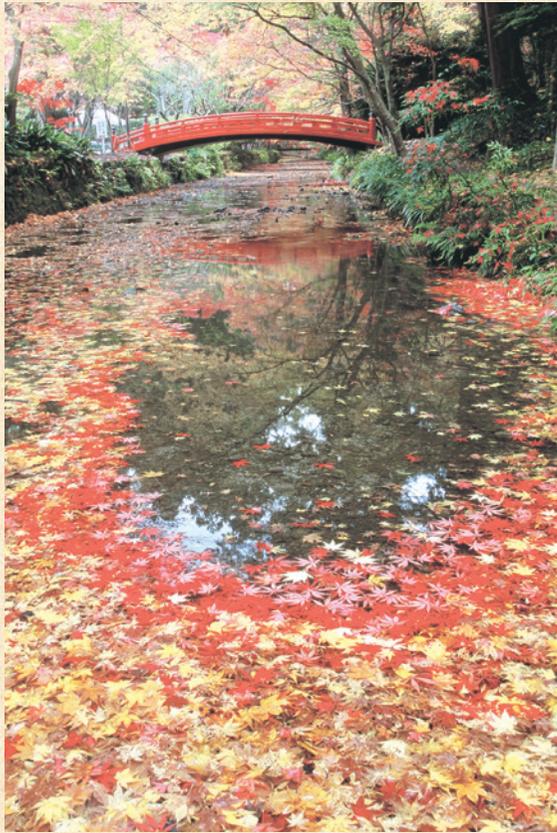


「秋の写真コンテスト」のご報告



昨年、小國神社内にて写真コンテスト実行委員会を設立し、秋の風景をテーマにした「秋の写真コンテスト」を開催しました。神社の杜に流れる宮川沿いには、秋が深まるにつれ紅葉が色づきはじめ、息づく赤・黄色のコントラストは人々の心を魅了します。また拝殿前に展示される菊花の色鮮やかな競演、七五三詣りの愛らしい姿など、秋のひとつを過ごす参拝者で終日賑わいをみせます。このように題材が多いこともあり、締め切り日の十二月二十五日までの間、二八

三名の応募者から八二五枚もの作品をお寄せいただきました。審査は富士写真フイルム(株)に依頼して入賞候補を挙げて戴き、写真コンテスト実行委員会による最終審査が行われました。どの作品も甲乙付けがたく、予想以上の時間を要しましたが満場一致で各賞が決まりました。最優秀賞一点・優秀賞二点・特別賞一点・入賞十点の計十四点になり、本年三月二日に小國神社拝殿に於て受賞者の正式参拝が斎行され、引き続き表彰式が開催されました。実行委員長より表彰者



最優秀賞<宮川彩流・山崎克巳氏>



優秀賞<落葉の通・小山勝二氏>



特別賞<静秋・近藤房子氏>

に賞状・各賞品が贈られ、お祝いを申し上げて皆様に喜んでお帰り戴きました。また、三月四日から三月十六日まで森町文化会館にて写真展が開催され、多数の方々のご来場下さいまして、小國神社の秋の風景を楽しんで戴きました。本年も「秋の写真コンテスト」を開催いたしますので昨年同様、多数の作品をお待ちしております。尚、開催にあたりご協力下さいました各後援・協賛者の皆様方に改めて厚くお礼申し上げます。



入選<お姉ちゃんと七五三・横尾光男氏>



優秀賞<晩秋・相沢 清氏>

こども祭(端午祭) 齋行



端午祭

五月五日午前十時より「こども祭」を齋行致しました。
 当社にて命名をされました五十二名のお子様とご家族にご参列いただき、身体健全・無事成長のご祈願を致しました。祭典後は、ご神札・記念品・柏餅・菖蒲湯用の菖蒲の葉・よもぎの葉を授与致しました。
 日本では、古代より菖蒲湯につかることよって邪気を祓い無病息災が叶うとされています。
 お子様のご健やかなるご成長をお祈り申し上げます。

浅野温子さんご参拝



浅野温子さん(左より3人目)

女優の浅野温子さんが五月二十三日に正式参拝され、また新緑の眩しい宮川沿いの遊歩道を散策されたり、花菖蒲園をご覧になられお楽しみいただきました。
 浅野さんは、日本の神話が日常生活の中であまり触れることが出来ない昨今を憂い、女優生活の傍ら、ライフワークとして神話の心を伝えるため、語り舞台「神話への誘い」をこの秋から全国神社で展開されます。

花菖蒲の開花



花菖蒲

本年の花菖蒲園は五月二十三日から六月二十二日まで開園いたしました。昨年は土壌不良のため、やせた株が多くみられましたが、今年は土壌改良の成果がみられ、春先からいきいきとした新芽がみられました。五月中旬には、例年より早く早稲の種類が次々と開花しはじめました。開園当日、古代の森を背景に数種類の花菖蒲が風にゆれながら初夏の始まりを感じさせました。六月八日(毎年六月第二日曜日)の花しょうぶまつりには、早稲・中・遅咲きと一三〇種四〇万本の花が咲き競い、二五〇〇人余りの入場者で終日賑わいました。梅雨に入ると雨中に映る花菖蒲は、格別の趣でした。
 期間中は、入園者の皆様に「綺麗なつたよ」との声を戴き、開園と同時に来年に向けての植替え作業が始まりました。

夏越の大祓式齋行



夏越しの大祓式(茅の輪神事)

六月三十日午後三時より、社務所前の祓所にて夏越の大祓式が齋行されました。
 罪や穢(けがれ)を身代わりとした人形(ひとがた)の前に、祭司を始め氏子内外より参列した約百五十名がお祓いを受け、手にした切麻にて身を清めました。その後拝殿前に設けられた茅の輪をくぐる神事が行われました。「蘇民将来」と唱えながら八の字にくぐり終えると身も心も清められ新たな気持ちに立返りました。この茅の輪くぐりの神事は当社では初めての実施となりました。茅の輪を作るのも初めてで、氏子の方より分けて頂いた茅葺(かやぶき)を使って作製しました。均等にほどよい太さに縛るのが特に難しく、縄が切れたり手に豆がでたりと苦労の末の完成でした。

小國神社関係団体合同研修旅行

例年、夏になり当社の祭事・行事が落ち着きますと各外廓団体の研修旅行が実施されます。近年こうした各団体の中から「神社に關係する団体で合同の研修旅行を実施してはどうか」とのご要望があり、七月六日(日)・七日(月)にわたり岐阜方面へ「小國神社関係団体合同研修旅行」を企画致しました。総代会・振興会・敬神婦人会・氏子青年会・崇敬会・古式舞楽保存会に募集を致しましたところ、一六〇名のお申し込みをいただきバス四台にて実施する運びとなりました。

初日は浜名湖SAにて四台のバスが合流の後、尾張国一宮の真清田神社で正式参拝をいたしました。二班に分かれての参拝でしたが、各班ごとに飯田宮司様よりお話を賜り、また宝物館も拝観させていただきました。参拝後、岐阜に入り郡上八幡の街並みを散策し、宿泊地である下呂温泉へ向かいました。

入浴後、懇親会となりましたがここで初めてゆつくりと全員が揃って顔を合



櫻山八幡宮の参拝

せ、宮司を初め各会代表者のご挨拶をいただき、引き続き鏡割りの後ご参加いただきました町議会議員お二人の乾杯のご発声により宴が始まりました。終始和やかに親睦をお図りいただき、ステージでは当地の芸能、太鼓の演奏も披露され、特に盛大に華を添えていただきましたのが参加者の半数を占める敬神婦人会の皆様でした。かなりの芸人さん揃いで歌やダンス、最後には会場に広がって踊り、割れんばかりの盛り上がりを見せました。二日目は飛騨高山の櫻山八幡宮にて正式参拝をいたし、谷田宮司様よりお話を賜り、屋台会館の拝観をさせていただきました。参拝後はおみやげをお買い求められ帰路へつきました。



懇親会の鏡開き

両日とも雨が心配されましたが、さほど影響も無く予定通り実施できましたことに御礼・感謝申し上げます。参拝先ではそれぞれの伝統文化にふれることができ、研修はもとより親睦を深めていただきましたことは誠に有意義な旅行であったと思います。

七五三祈禱のご案内

大人の厄年は比較的良好に知られていますが、同様に七五三も成長をお祝いする一方、体力が変化する年頃であります。三歳で言葉が解し、五歳で知恵づき、七歳で歯が生えかわるといわれ織細で体調を崩しやすい時期といわれています。何事もなく無事に成長されることはご両親を始め、ご家族の皆様の一歩の願いであり、また喜びでもあります。健やかな日々を過ごされませう、当社では十月より七五三祈禱を毎日受け付けております。祈禱を受けの方には、お札、お守り、記念メダル、絵本、千歳飴を授与致します。ご家族皆様お揃いでご参拝下さい。ちなみに、祈禱料は五、〇〇〇円となっております。



七五三祈禱

古代の森シリーズ⑧

宗像社

宗像社は水徳の神(田心姫命・湍津姫命・市杵島姫命)をお祀りする境内末社の一社で、二月十五日に例祭が斎行されます。

一の鳥居から参道を進むと左手に事待池があり、この池の小さな島(竹生島)に鎮まります。お社を囲む池は別名「イボ取り池」ともいわれ、古来よりイボを取る御神水として多くの参拝者がお水取りに参っています。また、宗像三神の一神である市杵島姫命は「弁天さま」ともいわれ、女性の守護神としても敬われています。

往来よりの古社として、徳川時代には家康公の家臣であった阿部善八郎が宗像社の神前にて、神主に大槍を渡した記録もあります。



宗像社

まつり歳時記

八月〜十一月

八月 葉月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十九日 甲子祭 (午前九時)

九月 長月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十三日 秋季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 二十五日 御柱祭 (午前十時)
- 二十五日 敬老祭安心祭 (午前十時)

十月 神無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 日本宮山月次祭 (午前十時)
- 十一日 白鬚神社例祭 (午後二時)
- 十七日 神嘗祭当日祭 (午前十時)
- 十七日 福神像頒布式 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前十時)
- 十八日 甲子祭 (午前十時)

十一月 霜月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 明治祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 七日 山神社例祭 (午前十時)
- 十五日 七五三祝祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭・稲祭 (午前九時)
- 十九日 疫神齋 (午後二時)
- 二十一日 地鎮祭 (午前九時)
- 二十三日 新嘗祭 (午前十時)
- 二十四日 もみじまつり (午前十時)
- 二十九日 紅葉祭 (午前十時)
- 甲子講秋季大祭 (午前十一時)
- 山芋賞味会 (午前十一時)



ジュビロ磐田のバスのお祝い (平成15年7月1日)

命名

平成十五年一月一日

〜平成十五年六月三十日

鈴木	増田	柳瀬	木野	渥美	西谷	榛村	小寺	桑原	鈴木	細田	山崎	内山	鈴木	石川	平野	遠藤	大城	佐藤
美有	花梨	玖音	翔真	里菜	一太	恵武	真矢	弘果	美結	温大	重慶	元暉	聖也	圭希	禪	祐奈	雅也	森北
袋井市	浅羽町	菊川町	小笠町	浜北市	掛川市	掛川市	森町	浜松市	袋井市	袋井市	浜松市	浜松市	森町	袋井市	掛川市	森町	浜北市	森町
神村	野尻	神村	山岸	市川	宮木	長野	橋本	山田	落合	川本	竹下	野尻	村松	楠ヶ谷	峯	木村	畑中	近藤
太一	直輝	京祐	宏崇	優花	栄彰	寿城	琉太	風沙	美穂	杏美	慶	達也	香奈	美奈	宏斗	健太郎	蒼天	利樹
浜松市	袋井市	袋井市	袋井市	春野町	浜松市	森町	小笠町	浜北市	掛川市	東大阪市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	袋井市	掛川市	掛川市	浅羽町
伊藤	金原	鈴木	瀬野	松島	山田	倉嶋	浅原	村松	乗松	永田	山本	川辺	志水	辻	鈴木	上林	田邊	三浦
寛人	龍樹	大翔	尾柁人	颯汰	京祐	心都美	拓真	謙仲	希美	結菜	紋寧	乃美	涼真	創太	瑠菜	美遥	琉愛	瞬
福田町	浅羽町	磐田市	松戸市	森町	浜松市	森町	浅羽町	大須賀町	袋井市	小笠町	森町	森町	富士市	榛原町	浜松市	浅羽町	磐田市	浜松市

○当社では、お子様の命名を申し受けております。

新職員抱負



巫女 小杉 知子

歴史ある小國神社に入社して数ヶ月がたちました。私は地元の皆様を始め県内・県外の皆様方から親しまれている小國神社に奉職できました事に感謝しております。それとともに、ご奉仕への責任を重く感じております。

毎日毎日ご参拝の方との新しい出会いに新鮮さを感じておりますが、また先輩方から学ぶことが多く勉強の日々です。今後は、一日でも早く先輩方に追いつきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

「小國の杜・点描」

宝鐸草 (ほうちやくそう)

ユリ科チゴユリ属 多年草

山地の林下などに生え、高さ三十〜六十cmほどになります。四〜五月頃、緑白色の筒状花が一〜三個垂れて咲きます。下垂して鐘状に咲く花の姿を、寺院や堂塔の軒などに吊るして飾りをする宝鐸(銅鐸の美称・風鐸ともいう)に見立てた名前です。

榊 (さかき)

ツバキ科サカキ属 常緑小高木

「榊」の字は神の依代となる神木である



宝鐸草



榊

ことからきた国字で、神の鎮まる地の境木・常に緑の葉の繁る栄木・幸葉木・小香木の意からの名称といわれます。六〜七月ごろにはほんのりと芳しい白い小花を葉の裏側につけます。

紫蘭 (しらん)

ラン科シラン属 多年草

高さ三十〜六十cm。初夏、茎の先に紅紫色の花を六〜七個つけます。古くから觀賞用に栽培され、花色の白いシロバナシランや、斑入りのフクリンシランなどがあります。自生のものは珍しくなりつつあり、互いに忘れないように、この花言葉があてられています。



紫蘭

十葉 (とくだみ)

ドクダミ科ドクダミ属 多年草

毒痛、毒下飲、毒矯、手臭の意から名付けられたといわれ、十種の薬効があることから十葉との別称もあります。民間薬として、煎服すると体を温め、利尿、高血圧、動脈硬化予防に、入浴料に用いれば汗疹や湿疹に、虫刺されには揉み塗る等の効能がよく知られています。



十葉

巫女さんの想い

毎年、七夕の日には拝殿の前に短冊をかけた竹が立てられます。六月から七月中に祈禱をうけられた方に書いていただいたものです。色とりどりの短冊が風にゆられてとても奇麗な光景でした。今年は梅雨が長く涼しい日が続きましたが、これからも体調をくずさないように気をつけ、ご奉仕していきたいと思えます。(M)

編集後記

○「玉垂」第八号をお届け致します。今号では樹木医の正木伸之先生に小國神社のシンボルでもある参道の並木の保全対策につきまして玉稿を頂きました。あまり人目につかない地道な仕事ですが社叢を継承するために状況を判断しつつ今後とも継続実施の予定であります。○昨年六月一日より開設いたしましたホームページには一年間で二万件以上のアクセスをいただいております。ご利用に厚く御礼申し上げます。

表紙写真について

平成十五年六月三十日午後三時、夏越の大祓式「茅の輪神事」を撮影致しました。一五〇名余のご参列があり、厳肅な祭典となりました。

平成十五年八月十五日
「玉垂」(たまたれ) 第八号
発行 小國神社本社事務所 伊豆
発行 小國神社本社事務所
郵便番号 四三七一〇二二六
住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二
FAX 〇五三八(八九) 七三六七
印刷 (株)アイソオフィス エム・エス・シー